

Governor's Monthly Letter

ガバナー月信

2011-’12年度
国際ロータリー第2770地区



2011.07
第1号



◆春日部夏祭り

「春日部夏祭り」はふるさと春日部の夏を彩り、みんなが最も熱くなる大イベント。そのルーツは八坂神社（牛頭天王社とも呼ばれる。）で粕壁宿の市神として祀られ、その祭礼が夏祭りの起源です。毎年7月中旬、各町内から20数基の神輿が豪快に街を練り歩く様子は関東でも有数の祭りです。

国際ロータリー第2770地区
ガバナー 三國 明

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂1-2-1-116 エイペックスター東館1階
TEL : 048-827-0022 FAX : 048-827-0011
E-mail : ri2770-184@plum.plala.or.jp

2011-12年度国際ロータリー会長 カルヤン・バネルジー

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために



2011-12年度には、まず自分自身を見つめ直すこと、すなわち「こころの中を見つめよう、博愛を広げるために」のテーマを実践していただきたいというのが、ロータリアンの皆さまへの私からのお願いです。深く自己を省みることによって、人類が皆、同じ夢、同じ希望、同じ願望、同じ問題を分かち合っていることを、理解していただきたいのです。誰であろうと、どこに住んでいようと、私たちはそれぞれ、同じように平和と充足を願い、充実した毎日を送りたいと望んでいます。人に何かを与えるとするなら、まず自分自身にそれを与えることです。なぜなら、自らが抱く望みを理解せずして、人々の望みを理解することはできないからです。

全世界で平和について語る前に、まずは自分から始め、その後で外に目を向ける必要があります。心に平和を見出しそこ、家の中に平和をもたらし、家族に平和をもたらし、そして地域社会に平和をもたらすことができるのです。同様に、全世界で平和を築こうとする前に、まず自分の家庭で平和を築き、全世界で友情と寛容の心を育もうとする前に、まず自分の周りの人々に対してそれを実践しなければなりません。言い換えれば、心が平和であれば、家庭が平和になり、この平和をほかの人々と分かち合うことができるということです。愛する人、大切な人と一緒にいることに喜びと満足を感じるように、私たちは、他者を大切にすることができるのです。

自分が強くなれば、共に生きる人々や家族も強くなります。そして、強い家族を土台として、前進していくことができるのです。うちに強さを秘めた人々が協力すれば、人類にもより良く奉仕することができます。これこそ、私たちがロータリーで行っていることです。

次年度には、ロータリーの奉仕において3つの強調事項に力を注いでいきたいと思います。第一に、強い家族を築くこと、第二に、私たちが一番得意とすることを継続していくこと、最後に、変える必要があることは変えるということです。

年度の第一の強調事項は、「家族」です。万事は家族から始まります。私たちが行う奉仕すべて、また世界で成し遂げたいと望むことすべての出発点は、家族にあります。そして、あらゆる家族の中心を成しているのが、母と子です。ここから始めてこそ、人々の生活や地域社会全体を通じて、世界をより良くしていくことができるのです。

第二の強調事項は、「継続」です。私たちが得意とすることは何かを知り、それを継続しながら次のレベルへと高めていくことです。私たちは皆、ロータリーの奉仕

で成功を収めてきました。これらの成功を土台に、今後もさらに多くの人々に手を差し伸べていくことができるでしょう。ですから、きれいで安全な水の提供、疾病の予防、識字力の普及、新世代のための活動や新世代との協力、平和への努力といった活動を、これからも続けていかなければなりません。

同時に、改善できること、変えるべきことがあることを、私たちは知っています。こうした事実を勇気をもって見据え、変えるべきことは何かを見定め、必要な変化をもたらしていくため行動していかなければなりません。

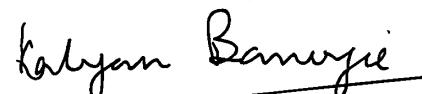
マハトマ・ガンジーはかつて次のように述べました。「世界の変化を望むなら、あなた自身がその変化にならなければならない」。ロータリーにおいては、私たちは、友情と親善を分かち合い、あらゆる人々の眞の価値を見極めるために、倫理的に、誠実に生きようと努力しています。ロータリアンは並みのことには満足しません。なぜならロータリーは非凡な組織であり、ロータリアンは類まれな人々だからです。私たちが自分自身を高めることによって、世界を高めようと取り組むのは、このためなのです。

私たちは皆、ロータリーを通じて世界を変えたいと望んでいます。ロータリアンとなる理由は、まさにこれに尽きるのではないかでしょうか。幸せと健康と平和にあふれた世界をつくることができる、過去よりも明るい未来を築くことができると、私たちは信じています。理想主義者である私たちは、ロータリーの奉仕を通じてこの理想を実現しているのです。

2011-12年度の第三の強調事項を「変化」としたのは、このためです。世界に望んでいる変化に、まず私たち自身がなることです。平和を望むなら、家庭に、地域社会に、自分自身の生活に平和をもたらすことから始めるのです。ポリオやほかの病気を世界からなくし、環境破壊に歯止めをかけ、子どもの死亡率を減らし、識字率を高め、飢えを減らしたいと望むなら、自分自身がこの変化の担い手とならなければなりません。それには、まず自分の中にこそ変化を起こすことの必要性を認識しなければならないのです。

「こころの中を見つめよう、博愛を広げるために」。平和、調和、そして友情の精神の中で変化をもたらし、すべての人々のために、さらに喜びある世界を築いていくではありませんか。

2011-12年度国際ロータリー会長



カルヤン・バネルジー



さあ、皆さん、新年度の始まりです。今年度のガバナーとして、ご挨拶申し上げます。浅学非才の三國ですが、伝統ある第2770地区のために身を粉にして頑張るつもりですので、よろしくお願ひいたします。今年度の地区運営方針について述べさせていただきます。

なんと言っても第1に強調したいことは、いろいろなアイディアを出し合いながら話し合って、良いと思われることはリスクを恐れず思い切ってチャレンジして下さい。事なかれ主義にならないようにしましょう。何でも例年どおりにやっていれば大過なく、誰にも非難されないかもしれません。しかし、ロータリーの伝統は過去の伝統を乗り越えていくことによって継承されるものだと思います。ポール・ハリスが語ったように、ロータリーの歴史は何回も書き換えられるのです。時代に対応し時代と共に変化していくかなければなりません。

ロータリーが動脈硬化に陥ってはなりません。クラブ委員会や地区の委員会のみなさんには、特にこのことをお願いしたく思います。

第2に東日本大震災に対する復興支援に力を尽くしましょう。一個のロータリアンとして、クラブとして、地区としてそれぞれの立場から出来る限りの奉仕活動をしましょう。地区においては復興支援特別チームを作り、情報収集、支援プログラム立案、被災地区や協力地区との連絡に当たります。

田中作次 RI会長ノミニー ニューオリンズ国際大会で受諾演説

「国際ロータリー会長としてのご指名をお受けでき、誠に栄誉なことと感じています」と述べました。「ロータリーに入会して以来、奉仕で新たなチャレンジがある度に、私はそれを受け入れてきました。私にとって『チャレンジ』は、最も重要な言葉です。チャレンジすることで意欲を燃え立たせ、自分の力を最大限に引き出し、さらに多くを成し遂げることができます」目標まであと一歩のポリオ撲滅を達成するよう、そしてロータリーの強みを生かして「世界でよいこと」をする能力を飛躍的に向上させるよう、ロータリアンに呼びかけました。

田中氏はまた、力強いクラブをつくることは、ロータリアン全員の責任であると話します。力強いクラブづくりには、質の高い会員が必要とされます。そのためにも、会員にとって有意義な、充実した例会を一つひとつ積み重ねていくこと、また若い会員を育てる行動計画の必要性を訴えました。「論理は必要ありません。行動で示さなければダメなんです」

3月に東日本を襲った大地震と津波についても言

「ロータリーに新風を！」

2011-2012年度ガバナー 三國 明

第3に各部門委員会においては増強拡大について、それぞれの立場から何ができるかを考えて下さい。増強は、単に増強委員会だけの仕事ではありません。増強委員会に任しておけば済むものではありません。各奉仕部門委員会がジョイントして組織的に動きましょう。キーポイントはひとえにクラブの活性化にかかっています。クラブにおいては例会にいろいろ工夫を凝らして、新規軸を出して下さい。それから目玉となる奉仕活動を考え直して下さい。例会のあり方や奉仕プログラム設定などについては、クラブ会員のニーズに沿うと言う視点を貫いて下さい。地区の管理運営部門委員会では会員満足度調査を行い、その結果をフィードバックいたします。ご活用下さい。ストップ・ザ・会員減少。目標2770名以上。地域や社会のためによいことをする仲間作りに全員で取りかかりましょう。

第4に5番目の奉仕部門である新世代部門活動に力を入れていきます。なんと言っても、ロータリーの良き理解者、次世代のロータリーの後継を託す世代です。若い人の育成に力を尽くしましょう。この部門の新しい試みとして、高卒生の就職支援活動をいたします。

地区の活動目標はこのほかにもありますが、特に強調したい点について述べさせていただきました。この一年間ほどロータリーの底力を試されている時はありません。進取、不屈の精神を持って、取り組みましょう。ドンキホーテ・デラ・マンチャ。

及し、世界各国のロータリアンからの圧倒的な支援に感謝の意を述べました。「世界中の人々、特にロータリアンが、失われた地域社会を再建するために支援の手を差しのべてくれました。自分たちは一人じゃないと知ってこそ、悲劇から立ち直る長い道のりの第一歩を踏み出すことができるのです」

田中氏は、RI理事とロータリー財団管理委員のほか、ロータリー財団地域コーディネーター、地区ガバナー、ポリオ撲滅提唱グループ、恒久基金委員会、未来の夢委員会の委員を歴任されました。また、2009年にはバーミンガム国際大会委員会の委員長という大役も務めました。

ロータリー平和フェローシップ基金を設立した田中氏は、京子夫人とともに、ポール・ハリス・フェロー、恒久基金ベネファクター、大口寄付者となっています。

受賞経歴として、同氏は超我の奉仕賞、ロータリー財団の特別功労賞を受賞されました。



会長ノミニー受諾演説を行つた田中作次RI会長が、2012年3月に開催されたニューオリンズ国際大会で、2011-2012年度ガバナーとしての受諾演説を行いました。



変化への積極的な推進を

国際ロータリー第2770地区
直前ガバナー 井橋 吉一

国際ロータリー第2770地区2011-12年度三國明ガバナーご就任おめでとう御座います。今年度の国際ロータリーの基本方針としてカルヤン・バネルジー国際ロータリー会長はロータリアン自身が自分を見つめ直し実践する為に「ここの中を見つめよう博愛を広げるために」のテーマを掲げました。それはカルヤン・バネルジーRI会長が変化を望むなら自分自身が変化となって初めて周囲の変化を実現できると説いています。

そして三國明ガバナーは変化を望んで地区のテーマとして「ロータリーに新風を！」掲げました。是非三國明ガバナーの積極的な行動で自らが変化となり地区内ロータリーに新風を巻き起こし変化の実現されることを期待

しています。

さらに今年度は日本人で3人目の田中作次RI会長エレクトが国際ロータリーで本格的に活動が始まります、それによって2770地区は田中作次RI会長エレクト出身地区として世界、そして日本のロータリーから注目されるようになります。今までに先輩パストガバナー始め多くのロータリアンが築いて来た2770地区を着実に発展、及びより内容の充実が希まれる様に成ると思います。

三國明ガバナーの素晴らしいリーダーシップによって地区内に新風を起こし2770地区の一層の成長を地区内ロータリアンの皆さんに期待しています。この様に重要な立場にあります三國明ガバナーに於きましては激務であります一年間のガバナー職を健康に充分留意されてガバナーの目的を達成されることを祈念して居ります。



三國明ガバナーの船出にあたって

地区研修リーダー
北 清治(2004-05年度ガバナー)

三國明ガバナーの輝かしい船出を心からお祝い申し上げます。ガバナーの要請により私は研修リーダーとして、与えられた責務を忠実に果たし、地区及びクラブの発展に微力乍ら尽力して行く所存であります。

三國明ガバナーは、地区のテーマとして「ロータリーに新風を！」と提唱されております。ロータリーに新しい風を吹かせるとしたなら、それはどんな風でしょうか。新しい風を取り込んでくるとしたらどんな風が相応しいのでしょうか。

カルヤン・バネルジーRI会長は、ロータリーの奉仕において三つの強調事項を示されました。三番目の強調事項が「変化」であります。自分自身がこの変化の担い手とならなければなりません。それには、先ず自分の中にこそ変化を起こす必要性を認識しなければなりませんと語られております。

三國明ガバナーは、「ロータリーに新風を！」のテーマと、7つの地区目標を掲げられその一番目に、リスクを恐れずにイノベーションを！と示されております。この変化、変革という風こそ、求めている爽やかな風にな

るのではないかでしょうか。イノベーションとは、意識的、組織的に変化を探すこと、その本質は良い変化を起こすことであります。

ロータリーは、106年の歴史を積み重ね奉仕の第二世纪に入っております。崇高な理念を掲げ、且つ奉仕の実践をしてきた現実は他の団体に類を見ないばかりでなく、他の団体のお手本となっていることは自他共に認める所であります。この歴史の事実こそロータリアンとして誇り得ることであります。

ロータリーの未来を展望した、新しい道標を掲げるために世界中のロータリアンを対象としたアンケートの実施やロータリーのイメージに関する各国で行われたフォーカスグループの結果を反映した新しい「RI長期計画」が示されています。

また、ロータリー財団においても「未来の夢計画」が試験的に実施されており、2013年度から完全実施となります。

RI長期計画の中核となる価値観、親睦、奉仕、多様性、高潔性、リーダーシップは、全て私たちが追求している、ロータリーの綱領と四つのテストに反映されております。



井橋直前ガバナー 1年間お疲れ様でした

ガバナー
三國 明

RI会長クリンゲン・スマス氏の「地域を育み、大陸をつなぐ」のテーマのもとに、地区モットー、「創立の原点に回帰しよう」をかけ、卓越した指導力を發揮され、すばらしい実績を残され、本当にご苦労さまでした。これまでの如く、CLP、ロータリー綱領の唱和、RLIの推進、ガバナー補佐会議を始め諸会議の充実など顕著なものがありました。なんといっても、増強に対する取り組みと実績は、すばらしい、の一語に尽きます。また国難とも言われた東日本大震災の勃発に際しては、素早く立ち上がり地区のロー

タリアンの先頭に立って支援活動を精力的に実行されました。地区においては復興支援特別チームを立ち上げ、今後の支援活動の道を示されました。私たちも先輩の後を受け継ぎ、これから頑張っていく所存です。増強と震災関係の支援プログラム、そして新世代プログラムや財団関係、どれ1つとっても大切な活動目標になります。地区的ロータリアン皆様のご協力を得ながら進めて参る所存です。直前ガバナーにおかれでは、ご自愛なされ、直前ガバナー、担当諮問などとして、今後とも後輩のご指導と地区的発展のため一層のご尽力のほど、お願い申しあげる次第です。

「東日本大震災復興支援チーム」を立ち上げました。メンバー構成や具体的な役割等は随時告知して参りますので今後のご理解とご協力をお願い申し上げます。

先輩より



楽しく意義ある クラブ運営を

パストガバナー 坂巻 幸次 (越谷RC)

RCは106年の輝かしい歴史と伝統を築き、今日に至っている。これは多くの先輩の研鑽と努力の結晶である。しかし、永い間には伝統的な組織や活動に安住しマンネリ化して沈滞現象が生じている。

現代に生きる我々ロータリアンはこの悪現象を検証して、新しい時代に相応しいクラブ運営、ロータリアンの生き方を再検討し、明日に向かって再構築し新たな第一歩を踏み出すことが大切である。

1. 会長のリーダーシップ

会長は、会長エレクト時代から自分の年度の基本方針・重点目標を立て、その実行に適した会員を委員長・委員に委嘱して、年度スタートと同時に強力に実行することを奨励する。

会長自身、各委員会や委員会活動に参加して常に先頭に立って実践履行する。常に会長は自ら先頭に立って指導するように心がけて奉仕に貢献することが大切である。

2. 現状分析

(1) 会員数クラブ数の減少傾向について

経済的不況が1つの要因とされているが、特に日本のロータリーが著しく減少している。

会員増強は、各クラブ及び各ロータリアン1人ひとりが増強に熱意をもって努力すること、その方法として、各委員会別・各地域別・各職業別等にグループを作って入会候補者を探し出し、その人材を集中的に勧誘し増強を図る。

(2) 会員数及びクラブ数の減少防止

入会時に入会候補者に紹介者、ロータリー情報委員からロータリーの沿革、組織、理念、活動状況及び会員の義務等を十分わかりやすく説明する。

クラブ数の減少は会員数の減少と比例するが、少人数のクラブに対してもクラブの運営方法につき、会員の経済的・労力的に合理化する等工夫を検討して改善する。

(3) クラブ運営の活性化について

①例会の運営について

ロータリークラブの例会は毎週1回会員全員が集まって出会い、心のふれ合い語り合いの絶好の機会であり、「人間道場」と称される。また、お互いに情報交換の場として、お互いに利用し合う絶好の機会である。そのうえ食事をしつつ親睦を深め合う機会である。

プログラム委員の活躍によってクラブ内外の人の有意義な卓話を聞き、常識を豊かにする機会をつくることも策ではないか。

(4) 親睦例会の充実

ロータリーは奉仕と親睦によって人間性の向上とお互いの理解を深め合う団体です。

多忙な職業人の団体ですので、夕食会、旅行会を兼ねた例会は可能な限り少なくとも50%以上参加できる計画を立て、実行するように心がけることが大切である。遠距離の1泊、2泊旅行は可能な限り全員出席が望ましい。

(5) クラブの委員会活動の充実

RCは会員が必ず委員会に所属しているので、各委員会の委員長が年度計画に基づきその内容を各委員に分担を決めて、活発に委員会活動をするよう勧めること、在籍10年の会員は毎年異なる委員会に所属し活動することによって、ロータリーの知識と経験を積み1人前のロータリアンに成長するよう。

(6) ロータリー財団 財)ロータリー米山記念奨学会 (以下、米山奨学会)

ロータリアンは国際ロータリー、RC定款、細則を承認のうえ、それぞれ入会し会員となっている。従ってRI、RCが推奨しているR財団及び米山奨学会の各事業には、各クラブ及び各ロータリアンとしてその趣旨に賛同し推進することが要請されている。

ロータリアンはRI及びRCの組織を支えるメンバーとして、その組織の方針に従いこれを支え発展させることが要請されている。従って、両財団に対し強力に推進する事が今日低迷しているロータリー運動を活性化する一助となると提言する。

後輩より



2008年10月1日入会
第6グループ

遠藤 裕久 (杉戸RC)

2011年、今年は「うさぎ年」。古来より「うさぎ」は献身の象徴と云われてきました。ロータリーの根本のロジックは「他人の為に何ができるか」「何をしたら他人に尽くすことができるかどうか」ということではないでしょうか? であるならば、世間一般のことに関心をもって地域の為に、より密着して活動を進めることができることが活性化の第一歩と考えます。地域とのより密着した活動とは、市民の皆様の深い理解を戴いて、市民祭り、産業祭、スポーツ大会等により積極的に参加し、親交を深めていくことが大事ではないかと思います。そして、クラブの会員同士の親睦をはかり(旅行、クリスマス会等)また、会員相互の活動事業(講演会、勉強会)も是非実施する。勿論、クラブ全体の支援活動、相互交流、懇親も大事な行事ですが、情報活動により情報を収集し、それを効果的に生かして将来の布石とします。情報は信じることだけではなく、使いこなすことが大事です。会報、その他の印刷物の発行、ロータリーの会員は常に「いつか」ではなく「今から」そして「誰に」ではなく「自分から」といった各参加意識をもって、みんなの心が一つになって事業を通して社会に貢献することではないでしょうか。



2009年7月入会
第7グループ

野村 均 (蓮田RC)

歴史あるロータリークラブに入会し沢山の人と出会うことが出来ました。まだ何も分からないので諸先輩方に指導していただいて少しでも成長できればと思っています。限られた時間でやるべき事を遂行していくには非常にタイトになっていますが、極力地域貢献行事や教育支援を行い地域の活性化に協力することが長い目で見るとクラブの活性化につながるのではないかと思います。新たな出会いからお互い協力することが出来ればまさに平和親睦・向上奉仕が実践でき友の輪が広がると思いますので今後も自分の出来ることを一生懸命実行して行きたいと思っておりますのでご支援よろしくお願いいたします。



第1グループガバナー補佐 鈴木 真 (浦和RC)

本年度当地区第1グループガバナー補佐のご指名を賜りました、鈴木真（浦和RC）です。どうぞ宜しくお願いを申し上げます。

三國明ガバナーより、事前の各セミナーにおいて、RIや地区の方針について説明を受けその方針に添って地区及び各クラブの円滑な活動が展開されるよう努力を致す所存であります。そして当初地区テーマとして「ロータリーに新風を！」を提唱されましたかが3月11日に発生した国難とも言わわれている東日本大震災の被災者には「日本の復活のために頑張ろう、蘇えれ日本」のテーマを追加し全面的な復興支援を宣言しました。私もその趣旨に添い尽力して参りますので各クラブの会長はじめ会員の皆様の格別のご理解とご支援を何卒宜しく、お願いを申し上げます。



第3グループガバナー補佐 岩崎 彰 (大宮RC)

今年度第3グループのガバナー補佐を仰せつかりました大宮RCの岩崎彰と申します。職業は、不動産鑑定士でロータリー歴は24年になります。

ニューオリンズでカルヤン・バネルジー会長の力強い演説を聞いてきました。「家族」・「継続」・「変化」という三つの強調事項を肝に銘じ、三國明ガバナーのご指導の下、傘下6RCの更なる活性化に向けて1年間共に歩んで行きたいと思います。何より楽しいロータリーライフと新世代に何ができるかを考えながら。



第5グループガバナー補佐 尾花 正明 (上尾RC)

三國ガバナーの下、第5グループガバナー補佐を委嘱されましたが、もとより浅学非才の身でありますので、ロータリアンの皆様のご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

カルヤン・バネルジー会長は「こころの中を見つめよう博愛を広げるために」とのテーマを掲げられ「ロータリアンは理想主義者であるが奉仕を通じてこの理想を現実にしている」と述べられております。

ガバナーの意向を共有できる第5グループを第一義に、未曾有の東日本大震災直後の一年間を取り組んでまいりますので宜しくお願い申し上げます。



第7グループガバナー補佐 深田 博明 (蓮田RC)

ロータリーに新風を（出でて奉仕）

①これまでの枠や既成概念にとらわれない新しい発想のもとに、リスクを恐れず、増強委員会、広報委員会、地域社会奉仕活動委員会が一体となって、各クラブが今年度に何名増やすか増強目標を設定して取り組みましょう。

ロータリアンの世代交代は進んでいるとの認識から事業後継者へのアプローチを強化する。

②明日の担い手の育成は喫緊の課題である若い世代に沿ったプログラムを開発、クラブの活性化、効果的クラブ運営のために大切である。

この部門の奉仕活動 三國年度の最重要点項目の一つである。社会奉仕、国際奉仕を通じて明日の世代を育てるとともに、若人が未来に希望を持てるように、そして将来ロータリーの良き理解者、後継者になってもらうように取り組もう。



第2グループガバナー補佐 大庭 秀夫 (さいたま新都心RC)

ロータリー活動と被災地復興支援

大変な不況と不安の中での幕開けとなりました。東日本大震災では、あってはならない大災害、被災地の惨澹たる状況に心を痛め、被災された皆さまに心よりお見舞申し上げると共に、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈り申し上げます。カルヤン・バネルジーRI会長はロータリーの奉仕において三つの強調事項を取り上げております。

①強い家族を築くこと ②私たちが得意とすることは何かを知り、それを継続しながら次のレベルへと高めていくこと ③世界に望んでいる変化に、まず私たち自身がなること
今、まさに日本はこのようなテーマに取組んでいく良い機会でもあり、私たち一人ひとりが、力を合わせてこのテーマに従って行動する限り、実現できると確信しています。



第4グループガバナー補佐 久下 良夫 (大宮南西RC)

本年度、第4グループガバナー補佐を委嘱され、浅学非才、経験不足の為、日々業務の重大さを痛感し、身の引き締まる思いです。

さて、三國ガバナーが本年度テーマとして掲げています「ロータリーに新風を！」の観点から、第4グループと致しまして、歴史と伝統の有る地域、大宮・岩槻を基盤とした各8クラブが（郷土豊さの継続性と、新世代を育てる環境創り）をテーマとして、会員の増強とクラブ繁栄を是非、一年間取り組んで行きたいと考えていますので皆様方のご指導、ご支援を重ねてお願い申し上げます。



第6グループガバナー補佐 田中 昌夫 (杉戸RC)

2011-12年度国際ロータリー カルヤン・バネルジー会長は、「こころの中を見つめよう、博愛を広げるために」REACH WITHIN TO EMBRACE HUMANITYをテーマにされロータリーの奉仕活動において「家族・継続・変化」の3つの協調事項に力を注いでいただきたいと言われています。2011-12年度国際ロータリー第2770地区三國ガバナーは、「ロータリーに新風を」をテーマにされ会員増強と新世代奉仕を二大重点目標とされました。目標を達成するために補佐として、ガバナーとクラブのパイプ役となり、奉仕活動を通じてロータリアンの皆さんと友情を深めながら、今年度お手伝いをさせて頂きたいと思います。



第8グループガバナー補佐 大野 光政 (越谷RC)

ロータリー精神は親睦・奉仕・高潔性等が求められます。RI会長は、良き家庭が地域社会に広がっていく原動力であると言っています。三國ガバナーの「ロータリーに新風を」のテーマの下、自らが変わりロータリーを楽しみながら奉仕せねばならないと思います。

会員相互の親睦を通じ理解し合って奉仕することが会員の維持と増強に不可欠であります。

各人の職業を通じ社会貢献していると思いますが、ロータリーでは沢山の幅広い奉仕活動のチャンスが与えられています。国難である大震災後ロータリアンとして、どの様に考え行動していくかと共に模索して行こうと思います。

各クラブ会長の皆様

- ①ガバナー・ノミニー候補者の推薦の締め切りは9月30日です。
- ②ガバナー補佐を通じて「効果的なロータリークラブになるための活動計画の指標」を提出してください。
- ③8月の増強月間に向けた具体的な増強計画を立ててください。

各クラブ幹事の皆様

- ①会費の支払いを含め、半期の報告書を記入してください。
- ②RIホームページの「会員アクセス」を利用して、会員情報を定期的に更新してください。

**第9グループガバナー補佐
金杉 光左生（八潮中央RC）**

ロータリーは創立100周年を契機として、この激動する社会に適応すべく、更に発展していくことでしょう。その為に、クラブや一人一人のロータリアンの活躍が発展の原動力となり、また自主的で積極的な活動がその基本とななければなりません。今、私達一人一人が変化を持って行動しなければクラブの将来を築く事は出来ないでしょう。

ポールハリスの言葉に…「世界は絶えず変化しています。そして、私達は世界と共に変化する構えがなければなりません。ロータリー物語は何度も書き換えられなければならないでしょう。ロータリーがその適正な運命を理解する所ならロータリーは必ず進歩しなければなりません。時には革命が起こる必要があります。」

私達、第9グループは社会の変化に適応できますように、クラブの現状を分析・把握し、将来への長期的な視野にたって変革し行動する年にしていきたいと思います。

**第10グループガバナー補佐
邨田 茂（吉川RC）**

2011-2012年度、第2770地区三國 明ガバナーは、地域社会や世界をよりよく変えるためには、まず自分たちが変わらなければならない。みんなで話し合って、良いと思うことは先例にこだわらず、失敗を恐れず大胆に取り組みましょう。と発信されました。

私のすべきことは地区とクラブのパイプ役、そしてグループ会員一人ひとりのコミュニケーションを図り、RIテーマ、三國ガバナー地区運営方針を第10グループの皆様と共に、より高いレベルの奉仕活動企画実践されることを掲げ、本年度活動してまいります。

**第11グループガバナー補佐
山本 孝（川口東RC）**

三國ガバナーが地区テーマとして「ロータリーに新風を！」掲げています。

ガバナーの意向や方針をストレートに会長・幹事・会員に付け加える事なく又、省く事なく伝達し、11グループの皆様の要望や願いを色を付けてガバナーにお伝えをする風通しの良いパイプ役になる様努めます。又、各クラブの良き相談役として骨身を惜しまず全力で頑張らせていただきます。地区役員とも情報を共有して各クラブに伝達したいと考えています。IMの開催は地区目標「明日を担う若者に対する奉仕活動」に載った青少年を巻き込み市民も多く参加出来るIMにしたいと思っています。1年間、なにとぞ、宜しくご指導ご鞭撻の程、お願い申し上げます。

**第12グループガバナー補佐
川島 健（川口西RC）**

4人で始まったロータリーはその1世紀を越える歴史の中で、大恐慌や2つの大戦等、大きな社会情勢の中でその形と質を変成させて来ました。次年度バネルジーRI会長はその中で「変えてはならない価値感」と時代に合わせて「変えるべき価値感」そしてその基である「家族」の重要性を示し、三國ガバナーもそれを踏まえて、ロータリーに新風を求めています。ガンジーが求めたもの。マザーテレサが求めたもの。その意味を良く考えて、微力ではございますが、ガバナーとクラブとの、そしてクラブのお手伝いをしてまいりたいと思います。よろしくお願ひ申し上げます。

「行動する仲間つくりを」 ロータリーに新風を

会員増強維持部門委員長 大杉 能弘（川口北RC）

先ず東日本大震災で被災された方や地域の皆様に対しまして心よりお見舞いを申し上げます。

井橋吉一、直前ガバナーを中心に我が地区では、被災地域に対します支援活動を多くの地区役員をはじめ各クラブ会員の温かいご協力を頂き素早い対応をされて現地の皆様に義援金並びに物資をお届けする行動をとられました。

是非、これからもその様な多くの仲間つくりをして行きましょう。

第2770地区の会員数は1994年をピークに（3933名）下降線をたどりはじめました。会員減少はアメリカを始めイギリス、日本など先進国と言われる所が目立っています。世界で目覚しい会員増強をされている所が、韓国、インド、フィリピンなどあります。これらの国はクラブの拡大、会員の増強に多くの実績を上げております。

三國ガバナーは地区ナンバーを目標に掲げ2770名の会員数を目指すと目標を設定されました。各クラブ会長様も、ガバナー補佐の皆様にクラブの目標をお伝えされておりますので是非、その目標達成のためにご努力をお願い致します。仲間作りは会長さ

んや、増強委員長さんのみの仕事ではなく他の、委員会とも協力して頂き、横断的に全会員が一丸となって取り組んで頂きたいと思います。入会3年から5年未満の退会者が約41%と云う数字が示しております様に、新会員に対しましてロータリー情報をはじめとする、カウンセラー制度の充実と、入会前にオリエンテーションを通じてロータリーの活動の内容などもしっかりと伝えて頂きたいと思います。会員の増強はもとより現会員の維持も大切であります。一人、一人がロータリーの仲間としてお互いを尊重し合い、それぞれの奉仕活動に取り組む事により更に強い絆が生まれてくるのではないかでしょうか。

2012~2013年度には、我が第2770地区より田中作次RI会長が誕生します。地区だけにのみならず、日本国全体の栄誉であります。是非、皆様一丸となって新しい仲間つくりに取り組もうではありませんか。クラブの活性化の為と、地域社会や、国際社会に対し奉仕する仲間を増やす事に全力で取り組みましょう。

クラブ会長さんの情熱と、やる気が心を動かします。是非ロータリーの存在をアピールしてください。共に行動しましょう。お手伝いさせてください。



2011～2012年度 公式訪問日程表

曜日	2011年7月	2011年8月	2011年9月	2011年10月	2011年11月	2011年12月
月		1				
火		2 形戸／杉戸中央 春日部イブニング 川口北			1 上尾東	
水		3			2 川口むさし野	
木		4 岩槻	1 川口		3 文化の日	1 春日部西
金	1	5	2 三郷		4	2
土	2	6 川口モーニング	3	1	5	3
日	3	7	4	2	6	4
月	4	8 浦和南	5	3	7	5
火	5 越谷	9 浦和北東	6 鴻巣 幸手中央	4 岩槻東	8 桶川イブニング	6
水	6 桶川	10 浦和ダイヤモンド	7 庄和	5 越谷北	9	7
木	7 北本	11	8	6 堀ヶ谷	10 浦和東	8
金	8	12	9	7	11	9
土	9	13	10	8	12 地区大会	10
日	10	14	11	9	13 地区大会	11
月	11	15	12	10 体育の日	14	12
火	12 川口西	16	13	11 大宮北	15 川口北東 三郷中央	13
水	13 蓼田	17 春日部南	14 天宮	12 川口南	16 川口・鳩ヶ谷武南	14
木	14 大宮南西	18 さいたま中央	15 越谷東	13 上尾	17 戸田西 戸田イブニング	15
金	15 上尾北	19	16	14	18	16
土	16	20	17	15	19	17
日	17	21	18	16	20	18
月	18 海の日	22 大宮西	19 敬老の日	17	21	19
火	19 越谷中	23 八潮	20 春日部 松伏	18 さいたま櫻／大宮南東	22 大宮北東	20
水	20 岩槻中央	24 浦和北 大宮シティ	21 八潮イブニング	19 大宮東	23 敬老感謝の日	21
木	21 八潮中央／八潮シティ／草加21	25 草加南	22 栗橋	20	24	22
金	22	26 浦和	23 秋分の日	21	25	23 天皇誕生日
土	23	27	24	22	26	22
日	24	28	25	23	27	25
月	25 さいたま新都心 川口中央	29 戸田	26	24	28	26
火	26 川口東 大宮中央	30 大宮南	27 浦和西	25 鳴巣 草加／草加中央／草加イブニング	29 鳩ヶ谷シティ	27
水	27 吉川	31 上尾西	28 幸手	26 鳴巣水曜	30 三郷ウェンズデー	28
木	28 浦和中		29 越谷南	27 久喜菖蒲		29
金	29		30	28		30
土	30			29		31
日	31			30		
月				31		

(注) 上の段は昼間の例会 下の段は夜間の例会

文庫通信 (285号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリ－50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFをご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

◆ 最近のロータリー文献より ◆

- ◎「ドイツの『ROTARY MAGAZIN』と『ロータリーの友』」織田吉郎 2011 1p (D.2790月信)
- ◎「日本人の奉仕の心」延原正 2011 2p (D.2690地区大会記念誌)
- ◎「『ロータリーの心と原点』－基本に返ろう」廣畠富

雄 2011 3p (D.2690地区大会記念誌)

- ◎「識字率向上が意味するもの」小林完治 2011 1p (D.2690月信)
- ◎「CLP導入の現状とクラブ活性化計画」川岸洋一 2011 2p (D.2510月信)
- ◎「ロータリーの曙」田中毅 2011 4p (米山梅吉記念館報)
- ◎「新世代育成」片山主水 2010 4p (奉仕の理想－ロータリーの心と形)
- ◎「一以って貫く」菅正明 2010 8p (論語でロータリー)

[申込先：ロータリー文庫 (コピー／PDF)]

ロ
タ
リ
ー
文
庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15
黒龍芝公園ビル3F
TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時～午後5時
休館=土・日・祝祭日